



「石油コンビナート向けの電子版立体構内図をプラットフォームとしたスマート保安推進に関する研究」について



危険物保安技術協会では、自主研究事業として「石油コンビナート向けの電子版立体構内図をプラットフォームとしたスマート保安推進に関する研究」を日本エヌ・ユー・エス株式会社 (JANUS) と共同研究しております。今年2月、総務省消防庁の募集案件「石油コンビナート災害対応に資する先進技術の情報共有について」に応募しましたが、応募内容を再編集して協会ホームページ「調査研究」で紹介させていただきますので、是非ご覧ください。

◆共同研究は、下記リンク先をご覧ください。

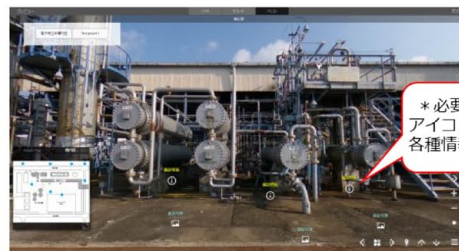
http://www.khk-syoubou.or.jp/guide/joint_research.html

【部分紹介】

VR 型構内図の表示例



▲施設外観



▲個別機器にズームイン

* 必要情報の登録アイコンをクリックと各種情報が表示する

実災害・訓練等の使用例

実践型訓練：電子版消火計画と VR 型構内図を組み合わせることで、従来のシナリオ型よりも実践的な訓練が可能。また、実災害時も訓練時と同様の体制で災害対応が可能。



* 電子版消火計画は、米国AMMI社 (AMMI Risk Solutions) が開発した「PRISM」ソフトウェアを活用してJANUSが構築しています。